

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 広島県立呉宮原高等学校 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	生徒 587名 保護者 15名
3 展開の形式	() 教科で実施 教科名 () (○) 教科以外で実施 (特別活動)
4 目標 (ねらい)	学校でオリンピック・パラリンピック教育を実施することで、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進し、児童生徒のスポーツに対する学びを深める。
5 取組内容	オリンピックの大山加奈氏を迎え、講演会を実施した。 演題は「小さなきっかけから大きな夢へ」で、これまでのスポーツを通じた経験について講演を実施した。スポーツの素晴らしさを伝えていただいただけでなく、成長していくことの重要性や成長するためのきっかけなど人としての生き方についての話を受けた。 講演会終了後には、本校バレーボール部とのパフォーマンスを実施し、トップレベルの技術を披露していただいた。
6 主な成果	生徒のスポーツに対する取り組み方や、スポーツに対するの興味関心の向上が図れた。 スポーツに対してだけでなく、人との接し方や、人間関係の作り方など、様々なこと学ぶ機会となった。
7 実践において工夫した点(事業の特色)	掲示物等を準備し、事前指導を行った。スポーツに興味がない生徒や講師を知らない生徒に対して、できるだけ興味・関心を持ってもらえるように努めたこと。 実施の際にも、バレーボール部との実演をしてもらうことでオリンピックの凄さを実感してもらえるようにしたこと。
8 主な課題等	事前指導や、実演などに努め、生徒がある程度の興味・関心を持ってもらえたと感じたが、全員の生徒が興味関心をしっかりと深めることができたとは言えなかったと思う。 さらに、今回の目的からすると、オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進というよりは、生き方や成長していくための取り組み方などが中心となってしまった。
9 来年度以降の実践予定	今回の事業は、生徒にとって非常に良いものとなったと感じている。スポーツの重要性はもちろんのこと、生徒が壁にぶつかったときにどうしていくかなど、様々なことを学ぶことが出来た。 来年度については、今回生徒に非常に価値のあったものとなったので、機会があれば実践していきたいと考えている。